

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜工業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年12月17日(水) 14:00~16:00
- 3 開催場所 岐阜工業高等学校 記念館2階 大会議室
開催にあたり、委員による生徒研究発表会への参観を実施した
- 4 参加者 委員 安藤 博之 本校 育友会 会長
岩田 愛 本校 育友会役員(副会長)
堀口 里奈 本校 育友会役員(副会長)
田島 安子 安藤菓子店 店長(欠席)
亀井 孝宏 (株)光製作所 総務部 課長
黒田 昌彦 (株)黒田製作所 代表取締役 社長
古田 流一 岐阜プラスチック工業(株) 人材開発部 部長
渡邊 伸一 名古屋鉄道(株) 笠松駅駅長
学校側 堀 秀樹 校長
関谷 博子 事務部長
山田 智徳 副校長
籠橋 美和子 教頭
岩口 一平 教頭
関口 健 教務主任(全日制)
高橋 宏幸 教務主任(定時制)
山口 敦 生徒指導主事
増井勇一郎 進路指導主事
岩佐 昌尚 工業教育部長
小澤 智也 研究推進・広報部長

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 地域課題探究型学習推進事業・地域連携について(全日制)
- (2) 学校評価アンケートの結果について(全日制・定時制)
- (3) 特色ある取組について<生徒支援・進路支援・部活動・行事>(全日制・定時制)

意見1: 研究発表会では、科の生徒が取組みについて真剣に発表しており、内容もレベルが高い。質問にも的確に答えてくれ、よく勉強していることが伝わった。

意見2: 研究発表会で説明する生徒の表情が明るい。生徒の人間関係が非常に良好である。生徒の方から「説明します」と積極的に説明に来てくれ、自分の伝えたいことをはつきり伝えることができる、社会で役立つ、積極性のある生徒が育っている。

意見3: 研究発表会では、やりたいこと、好きなことを自ら進んで行っているという生徒の主体性を感じた。やりたいことや興味は、努力しよう、勉強しよう、という気持ちにつながっていく。こうした取組みを継続してほしい(複数)

意見4: 設備システム工学科でのAI・動画編集等、工業教育自体アップデートされている

別紙様式3

ことに感心した。プロジェクトマッピングは笠松駅などでできるとよい。大人も子供も楽しめ、岐阜工業高校の生徒の技術を伝えることができる。

意見5：企業と連携し、高校生による人工衛星打ち上げ（ぎふハイスクールサット・プロジェクト）という、宇宙に関わるものも作る、大変貴重で夢のある取組みをしている。生徒は非常に良い環境で学習している。

意見6：地域連携で、生徒は将来の仕事を意識しながら、様々なところに出向き、様々な人と関わりながら学習や活動を行っている。そうした社会との関わりが、今日の研究発表会の成果へつながっている。

意見7：地域連携で様々な企業、地域と関わり、生徒も様々な見方ができるようになり、成長している。学校で教えないことを地域の人が教えてくれる。会社の側も、一生懸命行っているものづくりを生徒に伝えることに、やりがいを感じている。今後も引き続きこうした地域連携活動を行ってほしい。（複数）

意見8：生徒アンケート結果の「本校では、体罰はない」の項目で、定時制では「あてはまらない」の回答は0%だが、全日制は0%でない。体罰について調査は行っているのか。

⇒調査は定期的に実施しており、現在体罰はないと考える。教員の生徒に対する指導や叱責について、生徒が厳しいと感じた可能性がある。

意見9：生徒アンケートで、全日制、定時制ともに「本校に入学してよかったです」と回答した生徒が90%以上おり、学校の努力がわかる。教員が生徒に密に接している成果だ。

意見10：保護者アンケートで、項目によっては「わからない」という回答が多い。今日会議に参加し、各科で数多くの取組みをしていたことを知ったが、参加していない保護者は知らないだろう。Instagramも学校で配信しているが、科によって頻度や量が違う。行っている取組みをもっとアピールし、知らせてほしい。こうした情報をきっかけに、保護者と子どもの会話も増えるはずだ。

意見11：進路支援の説明で、求人倍率が非常に高いことに驚いた。企業にとって、工業高校で学び、ものづくりに興味関心のある生徒は非常に重要で、その価値は今後さらに高まる。高校では興味関心を高める指導が重要である。企業の側も、生徒にアピールする体制を重視し、働き方改革を進めるとともに、技術のブラッシュアップに注力したい。

意見12：進路支援について、教員のきめ細かい指導と尽力に感謝している。

意見13：これからも、学校と地域、保護者が協力しあいながら、共に満足度日本一の学校をめざして取り組みたい。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、生徒研究発表会の見学を通して委員に本校の様子を伝えることができた。委員からは率直な感想や意見が出され、学校評価や工業教育、地域連携、進路支援などについて理解が得られた。

本会議をふまえ、今後も実践的・探究的な学習や地域・保護者との連携、生徒への支援を継続するとともに更に発展させ、岐阜工業高校ならではの特色ある教育を実践したい。